



やなぎ美智子からののお便り

事務所 市川市鬼高2-5-16 清央荘101号室 FAX：047-307-9741
メールアドレス：kangoshi@hotmail.co.jp

2月定例会市議会で一般質問に立ちます

(会期予定は2月19日から3月19日まで)



小栗原架道橋



船橋市への聞き取り

○市川市の介護事業所人材確保について
 昨年の老人福祉・介護事業の倒産は過去最高の111件でした。特にヘルパー不足が深刻な事業者の倒産が急増しています。市内の介護事業所の状況、外国人介護労働者の就労実態と今後の見通し、ケアマネ試験延期等の問題をとりあげます。

○重度心身障害者(児)医療給付改善事業の制度改正(精神障害者への対象の拡大)
 精神障害者手帳一級の方は診療科を問わず入院一日・通院一回につき子ども医療費助成制度と同額の自己負担300円で済むようになります。制度の周知を求めます。

○公共下水道整備について
 木下街道周辺地域の下水道整備が遅れています。質問や苦情が寄せられています。計画と現状、今後の見通し、早期整備に向けた具体的な取り組みを求めます。

○小栗原架道橋脇の歩道橋建設について
 共産党市議団が行った市政アンケートに「自走式車いす利用者も通行できるように」と要望が寄せられました。バリアフリーへの配慮は災害時避難経路としても重要です。

○ジェンダー問題について
 ジェンダー平等社会は性差による差別のない社会です。誰もが尊厳をもって自分らしく生きられる市川市実現めざしこの問題をとりあげます。

●性被害者支援体制の現状と課題・性暴力や性犯罪の相談体制の現状と、体制確立に向けた課題
 性被害者に対応する24時間365日・ワンストップで支援を受けられる体制確立が求められます。

●市川市の「女性のためのあらゆる相談・配偶者暴力相談センター」の相談体制の現状と課題
 全国に287か所の配偶者暴力相談支援センターが設置され、年10万件を超す相談が寄せられています。市川市の現状と課題を問います。

●女性世帯の生活保護利用実態
 女性の生活困窮要因として介護離職・DV被害・離婚・低年金や無年金などが挙げられます。昨年、健康福祉委員会は釧路市の生活保護行政を視察しました。釧路市では多くの母子家庭で、生活保護を利用しながら就労し、自立した生活をしていることが報告されました。行政視察を踏まえ、市川市での取り組みを進めることを求めます。



「特養ホーム待機者ゼロをめざす会」のつどい

無料法律相談

3月10日(火) 4月14日(火)
 午後2時～5時 市役所仮本庁舎
 相談を希望される方は事前予約が必要です
 日本共産党市議会議員、または市役所共産党控室にご連絡ください
 ☎334-1111 (内線4591)